

「道立青少年教育施設の今後の在り方」の意見ばしゅうの結果(こどもの意見)

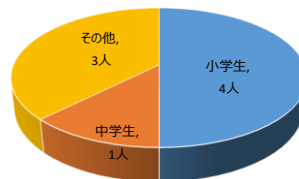
令和7年2月5日

実施期間	令和6年11月28日から令和6年12月27日まで
回答数	8人

1 回答者の年代

【質問】年代をおこたえください。

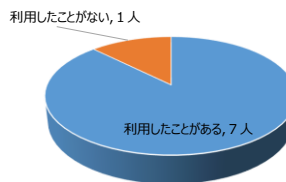
年代	人数	割合
小学生	4人	50%
中学生	1人	13%
高校生	0人	0%
その他	3人	38%
合計	8人	100.0%



2 ネイバルの利用歴について

【質問】これまで学校の宿泊学習や団体活動、主催事業などで、ネイバルを利用したことはありますか？

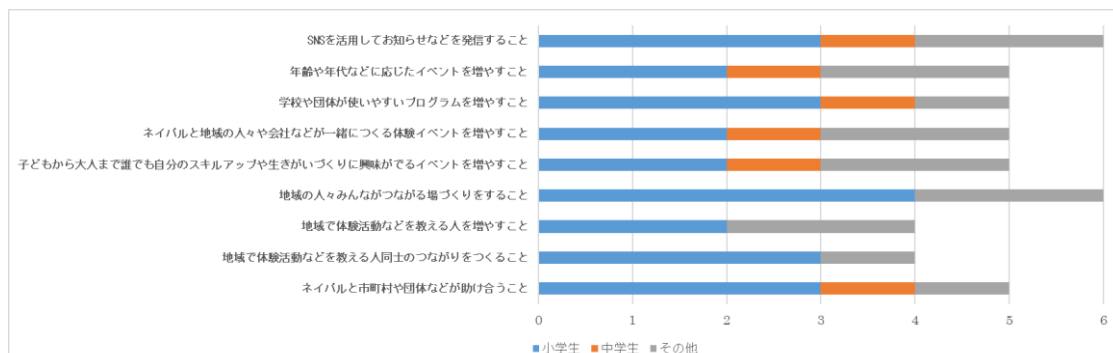
年代	ある	ない
小学生	3人 75.0%	1人 25.0%
中学生	1人 100.0%	0人 0.0%
高校生	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	3人 100.0%	0人 0.0%
合計	7人 87.5%	1人 12.5%



3 ネイバルの利用促進について

【質問】これからのネイバルにとって、もっとたくさんの人に使ってもらうための取組として、あなたが大事だと思うことは、次のうちどれですか？ 当てはまるものを全てを選んでください。

年代	SNSなどを活用してお知らせなどを発信すること	年齢や年代などに応じたイベントを増やすこと	学校や団体が使いやすいプログラムを増やすこと	ネイバルと地域の人々や会社などが一緒に体験イベントを増やすこと	子どもから大人まで誰でも自分のスキルアップや生きがいづくりに興味ができるイベントを増やすこと	地域の人々みんながつながる場づくりをすること
小学生	3人 75.0%	2人 50.0%	3人 75.0%	2人 50.0%	2人 50.0%	4人 100.0%
中学生	1人 100.0%	1人 100.0%	1人 100.0%	1人 100.0%	1人 100.0%	0人 0.0%
高校生	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	2人 66.7%	2人 66.7%	1人 33.3%	2人 66.7%	2人 66.7%	2人 66.7%
合計	6人 75.0%	5人 62.5%	5人 62.5%	5人 62.5%	5人 62.5%	6人 75.0%
年代	地域で体験活動などを教える人を増やすこと	地域で体験活動などを教える人同士のつながりをつくること	ネイバルと市町村や団体などが助け合うこと			
小学生	2人 50.0%	3人 75.0%	3人 75.0%			
中学生	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 100.0%			
高校生	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%			
その他	2人 66.7%	1人 33.3%	1人 33.3%			
合計	4人 50.0%	4人 50.0%	5人 62.5%			



皆さんの意見	意見の反映
「SNSなどを活用してお知らせなどを発信すること」、「地域の人々みんながつながる場づくりをすること」と答えた人の割合が一番多いことがわかりました。	各ネイバルでは、ホームページなどを活用した情報発信や、地域と連携した多様な主催事業・体験プログラムの実施などを行っています。これからも、こうした取組を更に充実させるために、みなさんの意見を参考にして、多様な方々が交流、つながる機会が大切であることをしっかり書くことにします。

4 ネイバルへの意見について

年代	意見の内容	意見の反映
小学生	宿泊施設があまり綺麗じゃない。暑い。	みなさんが楽しく活動し、安心して過ごことができるよう、引き続き、利用する施設や環境を整える取組を行っています。
小学生	ネイバルの事業をネットやポスターを使って宣伝すると良いと思いました。	各ネイバルでは、ホームページなどを活用した情報発信をしています。これからも、施設の様子や事業がいつ開催されるのかをみなさんに広く知ってもらうことが大切であることをしっかりと書くことにします。
小学生	自然の中で遊ぶイベントなどを増やすといいと思う。	いただいた意見を参考にして、これからも各ネイバルの周辺環境を活かした事業や活動を工夫していきます。
中学生	体験型学習を増やしてほしい。	いただいた意見を参考にして、これからも子どもが主体となって見る・聞く・話す・触れる・遊ぶ・作るなどの活動が展開されるよう、工夫していきます。
その他	私はビジネス重きで社会を見ているので、そのような観点で以下書かせていただきます。どの時代も、人々のニーズに合わせた価値を提供することで経済に発展してきたという歴史があります。地域経済においても、お金の循環が地域の発展の原動力であることを感じています。助成金に頼るのではなく、地域内もしくはここまでの人口減少が起きてしまっているのであれば地方、北海道という規模単位で経済活動が活発に行われる仕組みづくりが重要かと感じています。今回の計画は、この考え方に基づいてみると、良く練られていると感じます。ぜひこの方向性で、教育を資源とした地域の発展に貢献していただければ幸いです。	ご意見いただきました内容は、素案の内容と同様の趣旨であると考えます。一層多くみなさんにネイバルを利用いただくことはもとより、北海道のどこに住んでいても様々な体験活動の場や機会が創出されるよう、地域づくりの担い手の育成に向けた取組を進めていきます。
その他	時代に適した施設改修を！青少年育成に特化せず、青年層なども活躍できるように、環境整備を！場所など利点があることを活かせるように強く希望します。	ネイバルは、人が学び、人が育ち、人がつながる道長のための施設として、青少年だけでなく体験活動を通じた全ての世代の生涯学習の学びの拠点として機能することが重要であると考えます。いただいた意見を参考にして、施設や環境を整える取組を行っています。